

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|--|--------|--|
| | | 都 道 府 県 名 秋 田 県 市 区 町 村 名 河 川 名 雄物川水系新城川 (一級河川) 担 当 課 室 名 河川砂防課 連 絡 先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 雄物川水系新城川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する雄物川水系新城川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県秋田市飯島ノ袋～上新城 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和2年度～令和6年度 (5年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²)書きで記載</small> | 令和2年度 | 800 | | 第4種建設発生土 <small>※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。</small> |
| | 令和3年度 | 3,200 | | |
| | 令和4年度 | 3,100 | | |
| | 令和5年度 | 900 | | |
| | 令和6年度 | 1,000 | | |
| | 計 | 9,000 | | |
| 予定事業費 (単位：千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | 13,200 | 13,200 | 0 |
| | 令和3年度 | 10,300 | 10,300 | 0 |
| | 令和4年度 | 20,400 | 20,400 | 0 |
| | 令和5年度 | 10,300 | 10,300 | 0 |
| | 令和6年度 | 23,000 | 23,000 | 0 |
| | 計 | 77,200 | 77,200 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 雄物川水系新城川は秋田市に位置し流路延長19.1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 新城川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は9.0千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | 令和2年度～令和6年度の5年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ9.0千m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量)：観測頻度 (通年) 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small> | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分：第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|------------------------------|--------|---------------------------------------|
| | | 都 道 府 県 名 秋 田 県 市 区 町 村 名 | | |
| | | 河 川 名 雄物川水系草生津川 (一級河川) | | |
| | | 担 当 課 室 名 河川砂防課 | | |
| | | 連 絡 先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 雄物川水系草生津川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する雄物川水系草生津川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県秋田市寺内 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和2年度～令和5年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | 2,500 | | 泥土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | 4,500 | | |
| | 令和4年度 | 500 | | |
| | 令和5年度 | 1,500 | | |
| | 令和6年度 | 4,500 | | |
| | 計 | 13,500 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | 20,500 | 20,500 | 0 |
| | 令和3年度 | 12,300 | 12,300 | 0 |
| | 令和4年度 | 8,700 | 8,700 | 0 |
| | 令和5年度 | 7,200 | 7,200 | 0 |
| | 令和6年度 | 12,000 | 12,000 | 0 |
| | 計 | 60,700 | 60,700 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 雄物川水系草生津川は秋田市に位置し流路延長10.0kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 草生津川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は13.5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | 令和2年度～令和6年度の5年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ13.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量) : 観測頻度 (通年) 河川巡視 : 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) 施設点検等 : 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載 | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分: 泥土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系岩見川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 雄物川水系岩見川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する雄物川水系岩見川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県秋田市四ツ小屋～ 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度～令和6年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | 3,500 | | |
| | 令和4年度 | 1,600 | | |
| | 令和5年度 | (8000m2) | | |
| | 令和6年度 | (10000m2) | | |
| | 計 | 5,100 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 12,300 | 12,300 | 0 |
| | 令和4年度 | 13,900 | 13,900 | 0 |
| | 令和5年度 | 25,700 | 25,700 | 0 |
| | 令和6年度 | 30,000 | 30,000 | 0 |
| | 計 | 81,900 | 81,900 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・雄物川水系 岩見川は秋田市に位置し流路延長39.4 kmの一級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・岩見川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は5.1千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和3年度～令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ5.1千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|---|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系旭川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 雄物川水系旭川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する雄物川水系旭川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県秋田市濁川 濁川橋 ~ 添川頭首工 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度~令和6年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | 2,000 | |
| | 令和4年度 | | 100 | |
| | 令和5年度 | | 1,600 | |
| | 令和6年度 | | 2,600 | |
| | 計 | | 6,300 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 12,300 | 12,300 | 0 |
| | 令和4年度 | 15,900 | 15,900 | 0 |
| | 令和5年度 | 8,200 | 8,200 | 0 |
| | 令和6年度 | 14,000 | 14,000 | 0 |
| | 計 | 50,400 | 50,400 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> ・雄物川水系 旭川は 秋田市に位置し流路延長 18.5 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・旭川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は6.3千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度~令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ6.3千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本データの収集 (水位・雨量) : 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|---|--|--|--------|---|
| | | 都 道 府 県 名 秋 田 県 市 区 町 村 名 河 川 名 雄物川水系太平川 (一級河川) 担 当 課 室 名 河川砂防課 連 絡 先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 雄物川水系太平川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する雄物川水系太平川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：秋田県秋田市太平 目長崎～ 中関 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度～令和6年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | 2,000 | | |
| | 令和4年度 | 1,500 | | |
| | 令和5年度 | 2,000 | | |
| | 令和6年度 | 500 | | |
| | 計 | 6,000 | | |
| 予定事業費 (単位：千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 12,300 | 12,300 | 0 |
| | 令和4年度 | 15,000 | 15,000 | 0 |
| | 令和5年度 | 10,300 | 10,300 | 0 |
| | 令和6年度 | 6,700 | 6,700 | 0 |
| | 計 | 44,300 | 44,300 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 雄物川水系太平川は秋田市に位置し流路延長26.3kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 太平川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は6.0千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度～令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ6.0千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量)：観測頻度 (通年) 河川巡視：実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) 施設点検等：実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分：第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系猿田川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 雄物川水系猿田川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する雄物川水系猿田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県秋田市上北手荒巻 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度~令和6年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 1,200 | |
| | 令和6年度 | | 2,300 | |
| | 計 | | 3,500 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| | 令和6年度 | 12,000 | 12,000 | 0 |
| | 計 | 17,100 | 17,100 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・雄物川水系猿田川は秋田市に位置し流路延長11.4kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・猿田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は3.5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度~令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ3.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|---|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系梵字川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 雄物川水系梵字川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する雄物川水系梵字川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県秋田市河辺北野田高屋 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度~令和6年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 900 | |
| | 令和6年度 | | 3,300 | |
| | 計 | | 4,200 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| | 令和6年度 | 22,000 | 22,000 | 0 |
| | 計 | 27,100 | 27,100 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 雄物川水系梵字川は秋田市に位置し流路延長8.1kmの一級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 梵字川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は4.2千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度~令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ4.2千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) 河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) 施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|---------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 馬場目川水系馬場目川 (二級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 馬場目川水系馬場目川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する馬場目川水系馬場目川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県南秋田郡五城目町大川下樋口 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度~令和6年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | 8,700 | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | 3,000 | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | 5,310 (15,000m2) | | |
| | 令和6年度 | 3,510 (15,000m2) | | |
| | 計 | 20,520 (30,000m2) | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | 52,300 | 52,300 | 0 |
| | 令和3年度 | 41,100 | 41,100 | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 145,300 | 145,300 | 0 |
| | 令和6年度 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| | 計 | 288,700 | 288,700 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・馬場目川水系馬場目川は南秋田郡五城目町に位置し流路延長47.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・馬場目川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は20.5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度~令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ20.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|---|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 馬場目川水系井川 (二級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 馬場目川水系 井川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する馬場目川水系井川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県南秋田郡井川町寺沢 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度~令和6年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | 1,400 | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | 2,000 | | |
| | 令和6年度 | 6,600 | | |
| | 計 | 10,000 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 9,500 | 9,500 | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 9,200 | 9,200 | 0 |
| | 令和6年度 | 30,000 | 30,000 | 0 |
| | 計 | 48,700 | 48,700 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・馬場目川水系井川は南秋田郡井川町に位置し流路延長11.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・井川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は10.0千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和3年度~令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ10.0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 馬場目川水系内川川 (二級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 馬場目川水系内川川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所(所在地)) | 秋田県が管理する馬場目川水系内川川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県南秋田郡五城目町内川浅見内 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度~令和6年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 1,000 | |
| | 令和6年度 | | 2,500 | |
| | 計 | | 3,500 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 7,200 | 7,200 | 0 |
| | 令和6年度 | 15,000 | 15,000 | 0 |
| | 計 | 22,200 | 22,200 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・馬場目川水系内川川は南秋田郡五城目町に位置し流路延長6.8kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・内川川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は3.5千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度~令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ3.5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(週1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土(見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|---|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 馬場目川水系富津内川 (二級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 馬場目川水系富津内川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する馬場目川水系富津内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県南秋田郡五城目町中津又山居沢 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度~令和6年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 1,500 | |
| | 令和6年度 | | 2,800 | |
| | 計 | | 4,300 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 10,300 | 10,300 | 0 |
| | 令和6年度 | 20,000 | 20,000 | 0 |
| | 計 | 30,300 | 30,300 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・馬場目川水系富津内川は南秋田郡五城目町に位置し流路延長16.3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・富津内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は4.3千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度~令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ4.3千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|---|-------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 馬場目川水系馬踏川 (二級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 馬場目川水系馬踏川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する馬場目川水系馬踏川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県秋田市金足黒川 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和5年度～令和6年度 (2年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | | 1,000 | |
| | 令和6年度 | | | |
| | 計 | | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| | 令和6年度 | | | 0 |
| | 計 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> 馬場目川水系馬踏川は秋田市～潟上市に位置し流路延長13.2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 馬踏川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は1.0千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度～令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ1.0千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) 河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) 施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|--|--|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 馬場目川水系西部承水路 (二級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | 馬場目川水系 西部承水路緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理する馬場目川水系西部承水路の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県男鹿市野石浜田 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度~令和6年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載 | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | | |
| | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | (1,000m2) | | |
| | 令和6年度 | (1,000m2) | | |
| | 計 | 2000m2 | | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | | | 0 |
| | 令和4年度 | | | 0 |
| | 令和5年度 | 5,100 | 5,100 | 0 |
| | 令和6年度 | 5,000 | 5,000 | 0 |
| | 計 | 10,100 | 10,100 | 0 |
| 事業の必要性、 緊急性 | ・馬場目川水系西部承水路は男鹿市及び大潟村に位置し流路延長23.2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・西部承水路では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 | | | |
| 浚渫目標 | ・令和5年度~令和6年度の2年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ2.0千m2の伐木を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (週1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載 | ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |

(別添1)

| 令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川) | | | | |
|--|---|---|--------|---|
| | | 都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 その他水系滝川 (二級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514 | | |
| 事業名 | その他水系滝川緊急浚渫推進事業 | | | |
| 事業の内容 (施工場所 (所在地)) | 秋田県が管理するその他水系滝川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県男鹿市男鹿中 地内 【別図参照】 | | | |
| 実施予定期間 | 令和3年度～令和6年度 (4年間) | | | 土質区分 |
| 予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small> | 令和2年度 | | | 第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。 |
| | 令和3年度 | | 6,000 | |
| | 令和4年度 | | 2,900 | |
| | 令和5年度 | | 1,500 | |
| | 令和6年度 | | 7,600 | |
| | 計 | | 18,000 | |
| 予定事業費 (単位: 千円) | | 事業費 | 地方債 | 一般財源 |
| | 令和2年度 | | | 0 |
| | 令和3年度 | 12,300 | 12,300 | 0 |
| | 令和4年度 | 14,000 | 14,000 | 0 |
| | 令和5年度 | 7,200 | 7,200 | 0 |
| | 令和6年度 | 15,500 | 15,500 | 0 |
| | 計 | 49,000 | 49,000 | 0 |
| 事業の必要性、緊急性 | <ul style="list-style-type: none"> ・その他水系滝川は男鹿市に位置し流路延長7.4 kmの二級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・滝川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全性は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度現在、河道内の土砂堆積量は18.0千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 | | | |
| 浚渫目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度～令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ18.0千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 | | | |
| 河道の状態把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) | | | |